



2021年8月4日

各位

会社名 ダイキョーニシカワ株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 内田 成明  
 (コード番号: 4246 東証第一部)  
 問合せ先 常務執行役員  
 経営企画本部長 河崎 広  
 (TEL 082-493-5610)

## 2022年3月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年6月7日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

## 記

## 1. 2022年3月期 第2四半期累計期間 連結業績予想 (2021年4月1日～2021年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	61,000	400	600	△200	△2.82
今回発表予想 (B)	60,000	200	400	△100	△1.41
増減額 (B - A)	△1,000	△200	△200	100	
増減率 (%)	-1.6%	-50.0%	-33.3%	—	
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2021年3月期 第2四半期)	62,999	57	231	△159	△2.25

## 2. 2022年3月期 通期 連結業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	131,000	1,700	2,900	300	4.23
今回発表予想 (B)	131,000	1,800	3,100	1,000	14.09
増減額 (B - A)	—	100	200	700	
増減率 (%)	—	5.9%	6.9%	233.3%	
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	150,234	4,456	5,386	2,536	35.75

## 3. 修正の理由

第2四半期連結累計期間(2021年4月1日～2021年9月30日)の業績予想につきましては、売上は主要取引先の半導体供給不足を要因とする生産への影響により減収の見込みとなりました。

利益につきましては、営業利益、経常利益は減収影響により減益の見込みとなりましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益は、メキシコでの税務会計処理等の変更により増益の見込みとなりました。

通期(2021年4月1日～2022年3月31日)の業績予想につきましては、下期での生産台数増加による増収、米国新工場の操業準備費用減少、メキシコでの税務会計処理等の変更により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回予想を上回る見込みとなりました。

※ 将来に関する記述等についての注意事項

上記の業績予想等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な不確定要素により、将来における当社の実際の業績と大きく異なる可能性があります。

以上